

プログラム費用及び参加条件

プログラム費用

姉妹校交流留学プログラム費用 合計：220,200 円

【内訳】

手配料金及びサポート費用：32,400 円、ホテル 1 泊代：8,700 円、航空券代：164,000 円、海外留学保険代（W02/14 日まで）：15,100 円

＜留学手配料金及びサポート費用に含まれるもの＞

- 留学手配
- 航空券手配
- 海外留学保険手配
- オリエンテーション（2 回）
- 24 時間日本語対応緊急サポート
- 留学中の相談サポート

＜航空券代に含まれるもの＞

- 航空運賃
- 国内空港使用料
- 各国空港税
- 航空保険超過負担料
- 燃油特別付加運賃（燃油サーチャージ）

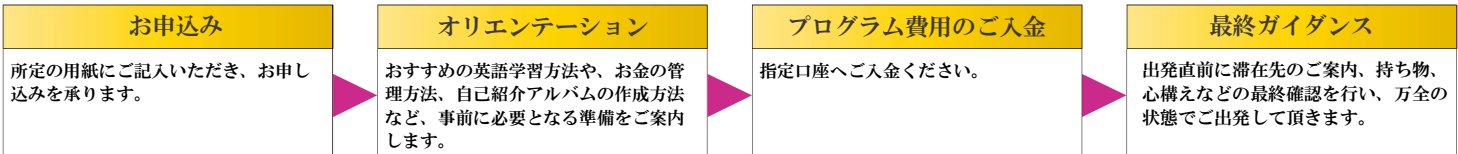
＜海外留学保険に含まれるもの＞

※別途海外留学保険パンフレットをご参照ください。

＜費用に含まれないもの＞

- お小遣い
- お土産代
- 8 月 7 日夕食代
- 日本国内移動費

お申し込みから出発まで



プログラム参加条件書

【留学プログラムお申込および航空券手配お申込の取消について】※取消料は、①②の合算となります。

①留学プログラムお申込に関する取消料条件及び取消料

留学契約の解除期日	取消料
お申込日以降	41,000 円（全額）

②航空件手配お申込の取消料条件及び取消料

旅行契約の解除期日	取消料
出発開始日の前日から起算して遡って 60 日目～31 日目以前に解除する場合	70,000 円
出発開始日の前日から起算して遡って 30 日目～7 日目以前に解除する場合	80,000 円
出発開始日の前日から起算して遡って 6 日目～前日以前に解除する場合	100,000 円
出発日当日以降	全額

＜留学プログラム条件書＞

【お申込】

本プログラムへのお申込は、お申込金のご入金を確認された時点で成立いたします。

【適用範囲】

本条件書にて提供される留学プログラムは、旅行業法第 1 章第 2 条規定の「旅行業法」の定義に該当しないサービスを指し、旅行業法にて定める営業保証金による弁済適用外となります。

【契約解除と免責事項】

以下の理由によりプログラム内容の変更、中止および参加不可能となった場合については、責任範囲外になるとともに当社より契約を解除させて頂く場合があります。

- ①申込プログラムや滞在施設等の制限により、受入が不許可となった場合。
- ②当社が指定する期日までに必要な書類をお申込者が提出しない場合。
- ③当社が指定する期日までにお申込者による支払いがない場合。
- ④留学先学校・滞在先等の受入機関の事情により、授業内容の変更、滞在先の変更、その他留学内容に関する変更があった場合。また、受入機関が破産、民事再生、会社更生法の適用を受けサービスの提供が得られなかった場合。
- ⑤天候その他気象条件の変更に伴い、プログラムが変更あるいは中止になった場合。
- ⑥天災事変、戦争、ストライキ、陸海空における不慮の災害、その他不可抗力による事由により、入国の許可がおりなかった場合。
- ⑦お申込者またはその関係者が、他の参加者に迷惑をおよぼし、もしくはプログラムの円滑な運営を妨げた時、またはその可能性が極めて高いと当社が判断した場合。
- ⑧旅券及び査証の取得に時間がかかり、出発時期が変更になった場合。
- ⑨お申込者の怪我、病気等の体調の変化に伴って、プログラム変更や取消が発生した場合。
- ⑩特記事項②の規定による停学あるいは退学、もしくは強制帰国等の処分によりプログラムの継続が不可能になった場合。
- ⑪お申込者から提出された書類に虚偽の申告があった場合。お申込者が長期にわたり連絡不能または所在不明となった場合。

【特記事項】

- ①査証発給または渡航に必要な承認（電子承認渡航システム含む）は、大使館あるいは領事館の判断によるものであり、万が一発給が拒否された場合は、当社は一切の責任を負いかねます。
- ②渡航後はお申込者の責任において行動し、法令、公序、良俗に反する行為により生じた損害の責任はお申込者に帰します。現地にて受け入れ後、留学先機関の規則に違反し、停学、退学あるいは強制帰国、その他被った損害についても同様にお申込者の責任となります。
- ③ホームステイ先については、一度決定した滞在先を人種・職業・家族構成を理由に変更することは出来ません。
- ④本条件に基づく契約、お申込、またはこれに関する一切の業務についての訴訟を提起する場合には、当社の本社所在地の管轄する裁判所を管轄裁判所とする。
- ⑤お申込者の個人情報、当社の個人情報保護方針に基づき取り扱いします。別紙「個人情報保護方針に関するご案内」をご参照下さい。

＜航空券条件書＞

別紙＜手配旅行条件書＞をご参照下さい。

株式会社ウインテック（ウインテック留学センター）

東京都知事登録 旅行業第 3-4361 号

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-14-1 新宿グリーンタワービル 3F

東北学院中学校・高等学校



<募集要項>

研修国： ニュージーランド

研修都市： ワイヒ

期間： 2019 年 7 月 26 日（金）～ 2019 年 8 月 8 日（木）



出発の空港にて



ホストファミリーと対面



クッキングクラス

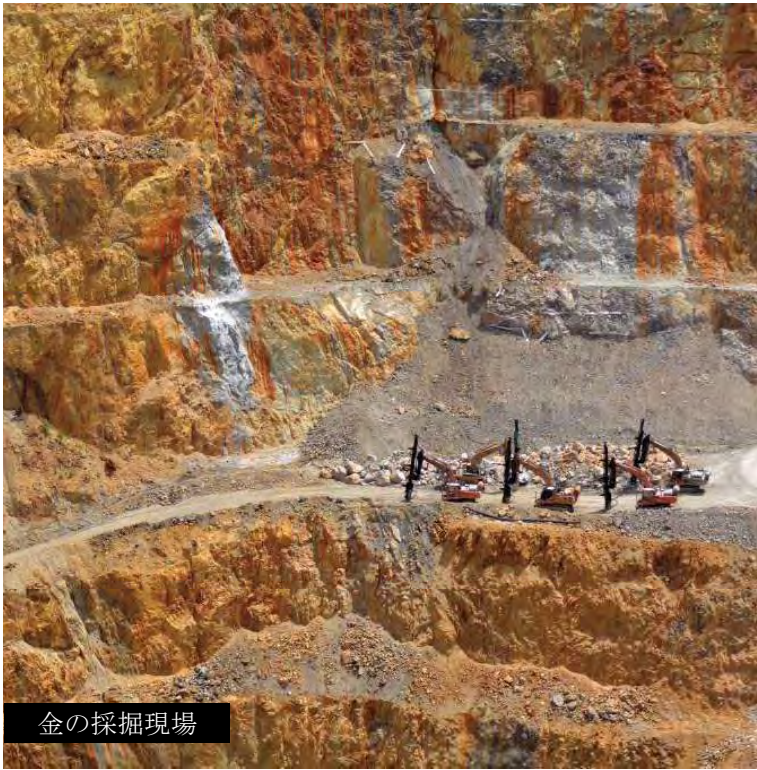


ウインテック留学センター



～ニュージーランドの人々と文化～

人間よりも羊の数の多いと言われているニュージーランドは、その雄大で美しい自然と穏やかな気候で、初めての留学先としても人気の国です。
 イギリス統治の時代を経て、クイーンズイングリッシュを話すこの国では、イギリス文化と先住民族のマオリ文化が共存してきたバックグラウンドから、様々な文化や価値観に対して非常に寛容です。ニュージーランドに住む人々は温厚でフレンドリー、さらに治安も良いので英語に慣れていないジュニア世代やシニア世代の留学先として高い人気を誇っています。



金の採掘現場

～金鉱と黄金に輝くビーチ～

ワイヒは、ニュージーランドの金鉱採掘の中心地です。この場所には3世紀にも渡る金鉱採掘の歴史があり、街にある鉱山は今も稼働しており、毎週約100万ドル相当の金や銀を産出しています。ワイヒの街にはオヒネムリ川という川が流れており、この川はカラングハケ峡谷へと繋がっています。峡谷では、マス釣りや、昔の金鉱採掘場のトンネルや跡地を巡る歴史的な遊歩道、サイクリングのできるハウラキ・レイル・トレイルなど、様々なアクティビティーを楽しむことができます。
 ワイヒ中心地から約10分の場所にあるワイヒビーチは、9kmにも及ぶ美しい白い砂浜があり、サーフィンができるサーフスポットの1つとなっています。



ワイヒの街並み

【ニュージーランド先住民の言葉 “マオリ語”】
 ニュージーランドには英語のほかに先住民マオリ族が話す「マオリ語」という言語があり、文化保護の観点から小学校では必修科目となっています。
 「Kia ora キア オラ」こんにちは
 「Kia ora tatou キア オラ タトウ」みなさん、こんにちは
 「Kei te pehea koe? ケイ テ ペヘア コエ」お元気ですか？
 「Kei te pai ケイ テ パイ」元気です
 「Tino pai ティノ パイ」とても元気です
 「Ko wai tou ingoa? コ ワイトウ イゴア」お名前はなんですか？
 「Ko OO taku ingoa コ OO タク イゴア」私の名前はOOです。
 「Ka kite ano カ キテ アノ」また会う時まで、さようなら



～ニュージーランドの名産品とえばコレ！～ ニュージーランド留学の定番土産といえば「マヌカハニー」。虫歯予防やピロリ菌の除菌、免疫力アップなど様々な効果があるため、近年はスーパーフードとしての需要も高まっています。食べるときは金属製のスプーンは使わず、木製のスプーンや木製のハニースティック、陶器や竹等のスプーンを使用するのが、活性力を最大限に引き出す秘訣です。



SCHOOL DATA



学校名： WAIHI COLLEGE ワイヒカレッジ
 学校タイプ：公立校
 設立： 1932 年
 学生数： 730 名
 留学生数： 約 25-35 名



～ 20 ヘクタールの広大な敷地を持つ中高一貫校～

ワイヒカレッジは、タウランガの街から車で45分、ワイヒビーチからは約10分の場所に位置します。人生を豊かにするため、生涯学び続けることができる生徒の育成、自信に繋がる学業成績などを大切にしています。全校生徒730名という大きすぎずまた小さすぎない規模により、様々なクラスを設置（プロダクトデザイン、グラフィックデザイン、テキスタイルなど）しながら、アットホームな雰囲気を作りあげています。
 学校の敷地はとても広く、農場、キウイフルーツ菜園などがあり、農業や園芸のクラスを受講することが出来ます。自然溢れる場所に位置しているため、サーフィンやマウンテンバイクなど、海のアクティビティーと山のアクティビティーの両方を楽しむことが出来ることもワイヒカレッジの魅力です。
 スポーツは、サッカー、ラグビー、バスケットボール、トライアスロン、クレイターゲットシューティング、スクワッシュ、乗馬など様々なスポーツチームがあります。

スケジュール	
7月26日（金）	日本出発 仙台空港 14:35 発 成田空港 15:45 着 成田空港 18:30 発
7月27日（土）	ニュージーランド到着 オークランド国際空港 08:05 着
7月28日（日）	ホストファミリーとの交流
7月29日（月）	現地校体験
7月30日（火）	現地校体験
7月31日（水）	現地校体験
8月1日（木）	現地校体験
8月2日（金）	現地校体験
8月3日（土）	ホストファミリーとの交流
8月4日（日）	ホストファミリーとの交流
8月5日（月）	現地校体験
8月6日（火）	現地校体験
8月7日（水）	オークランド観光（ホテル泊）
8月8日（木）	ニュージーランド出発 オークランド国際空港 08:55 発
同日	日本到着 成田空港 16:50 着 成田空港 18:50 発 仙台空港 20:10 着

1日の流れ（例）	
08:45-09:00	ホームルーム
1 限 09:00-10:30	授業体験
2 限 A 10:30-11:15	授業体験
11:15-11:35	休み時間
2 限 B 11:35-12:20	留学生用英語レッスン
3 限 12:20-13:20	ラグビー
13:20-14:10	ランチ
4 限 14:10-15:10	家庭科



～ニュージーランドは飛べない鳥達の王国～ 一説によると、ニュージーランドは地殻変動により一度海底に沈み、再び隆起したとされています。それ以降、ニュージーランドには鳥達の大敵となるヘビが生息しておらず、国鳥キウィを筆頭に飛ぶ能力の退化した固有種が生息しています。NZは現在も外来種の持ち込みに非常に厳しい制限を設けており、生態系をしっかりと守り続けています。